

## 研究調査ご支援のお願い

日本運動器リハビリテーション学会

理事長 伊藤博元教授 殿

謹啓

時下益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、私どもは平成 19 年度より 3 年間の厚生労働省科学研究費補助金をえて、高齢者（75 歳以上の後期高齢者）の元気調査として開眼片足起立時間を測定し、15 秒以下の後期高齢者が 1 年間に転倒する回数と骨折の部位（究極の目標骨折は大腿骨近位部骨折）を調査すること、更に 15 秒以下の者に対し 1 分間の開眼片足起立訓練を 1 日 3 回実施する群と実施しない群に分け、運動訓練の 3・6・9 ヶ月・（1 年）後の転倒・骨折予防介入調査（無作為化は昭和大学医学部公衆衛生学教室が担当し症例の窓口は国際情報センターが担当）（目標調査件数 5,000 例）に取り組んでおります。

しかしながら何分例数が膨大となるため多くの先生方のご協力が不可欠であり日本運動器リハビリテーション学会にご支援を仰ぐ次第です。出来ますれば日本運動器リハビリテーション学会のご支援をえて、学会員の先生の施設をご紹介頂き、これらの施設に日本運動器リハビリテーション学会理事長先生名と当研究グループ名を併記し、研究協力をお願い状を発送させて頂き協力を得たいと考えております。予定では各施設を無作為下に運動訓練実施群と非実施群の 2 群にわけ、各群とも開眼片足起立時間が 15 秒以下の人たち（新患、再来患者を問わず）で 1 施設 20 症例の調査経過観察をお願いできればと存じます。運動訓練実施群、非実施群とも各施設において今迄通りの投薬や、温熱療法・牽引などの理学療法は継続して実施していただいで結構ですが、既に開眼片足起立運動訓練や積極的な運動療法を実施されておられる症例は除外して頂きたく存じます。

なお本臨床研究は昭和大学医学部「医の倫理委員会」の承認を得ておりますが、日本運動器リハビリテーション学会のご支援が得られる場合は、必要に応じて日本運動器リハビリテーション学会倫理委員会に改めて臨床研究の申請を行い、その許諾が得られた上で臨床研究を実施したいと考えております。また些少で失礼とは存じますが、運動訓練実施群には 1 症例あたり 2,000 円、非実施群には 1,000 円の調査協力費を予定しております。恐れ入りますが何卒この臨床研究に貴学会よりの温かいご理解とご支援をいただきたくお願い申し上げます。

末筆となりますが日本運動器リハビリテーション学会の益々のご発展を祈念いたします。

謹白

平成 20 年 8 月 16 日

厚生労働省科学研究費補助金長寿科学特別研究「開眼片足起立時間による高齢者元気度区分と転倒・骨折調査、並びに片脚起立 15 秒以下の群に対する開眼片脚起立運動訓練による骨折予防への無作為化介入調査に関する研究」主任研究者 阪本桂造（昭和大学整形外科客員教授）

〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8 昭和大学整形外科内 長寿科学研究班事務局



TEL : 03-3784-8543 FAX : 03-3784-9005